

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

第2回全国セミナー 報告書

2018（平成30）年7月25日（水）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」第2回全国セミナーが下記の要領で開催されました。今回は、第1回セミナーに参加できなかった推進地域、及び二次公募にて本事業への参加が決定した推進地域の担当の方々を対象として行われました。早稲田大学の担当地域からは、岩手県、静岡市、岐阜県、広島県、熊本県の方々が参加されました。

【開催概要】

日時：2018（平成30）年7月25日（水）14時00分～17時15分

会場：筑波大学東京キャンパス文京校舎 119 会議室

主催：筑波大学、日本体育大学、早稲田大学

参加者：45 名

プログラム：

14:00～14:05 開会挨拶

スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課 課長 勝又 正秀 氏

14:05～14:20 事業概要説明

筑波大学体育系 教授 真田 久 氏

14:20～14:50 各学校段階におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践例について

筑波大学体育系 助教 大林 太朗 氏

日本体育大学 特別研究員 秋和 真澄 氏

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 研究員 岡田 悠佑 氏

14:50～16:10 関係団体事業および教材等について

東京 2020 組織委員会 アクション&レガシー担当課長（教育担当） 塩見 絢子 氏

東京都教育庁指導部 指導企画課 指導主事 小宮山 詠美 氏

日本財団パラリンピックサポートセンター 推進戦略部 プロジェクトリーダー 徳留 圭吾 氏

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局 参事官補佐 栗田 信行 氏

WOWOW 制作局 制作部 「WHO I AM」チーフプロデューサー 太田 慎也 氏

16:10～16:15 休憩・移動

16:15～17:15 全国中核拠点（担当大学）と各地域拠点の打ち合わせ

初めに、スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課の勝又正秀氏からの挨拶がありました。本セミナーのちょうど前日に 2020 年のオリンピック東京大会まで残り 2 年となり、今後、東京大会に関する様々な具体的な事項が決まっていく中で、2015 年に始まった本事業もより一層充実させていきたいとのことでした。

次に、真田久氏（筑波大学教授）より、事業の概要説明がありました。本事業への参加自治体が毎年度増加していること、また、2020年の後のレガシーとして何を残せるかが重要であるとの内容が話されました。

その後、全国中核拠点の大林太朗氏（筑波大学）、秋和真澄氏（日本体育大学）、岡田悠佑氏（早稲田大学）より、推進校におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践例について紹介がありました。さらに、関連団体における取り組みや参考資料として、塩見絢子氏（東京2020組織委員会）からは「ようい、ドン！」プログラム等について、小宮山詠美氏（東京都教育庁）からは東京都におけるオリンピック・パラリンピック教育の関連事業等について、徳留圭吾氏（日本財団パラサポセンター）からは「I'm POSSIBLE」の活用方法、栗田信行氏（内閣官房東京オリパラ推進本部）からは共生社会がテーマの映像資料等について、そして、太田慎也氏（WOWOW制作局）からはドキュメンタリー映像「WHO I AM」が、紹介されました。



全体会の様子



岡田 悠佑 研究員

その後、別室にて、全国中核拠点の大学と各担当地域拠点の担当者が打ち合わせを行いました。早稲田大学担当の打ち合わせは、岩手県、静岡市、広島県、熊本県の担当の方々と行われました。打ち合わせでは、各地域拠点の進捗状況や今後の予定、また、推進校において事業を展開する上での課題とそれに対する解決策等について意見交換がなされました。特に、推進校へのアスリート派遣に関する課題は、本センターや各地域拠点が連携することで解決を図ろうとの意見が共有されました。



早稲田大学と各地域拠点の担当者との打ち合わせの様子